令和３年度看護職員認知症対応力向上研修実施要領
－宮崎県委託事業－

1. 目　　的

認知症の人と接する機会が多い看護職員が、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、所属する医療機関等の看護職員に伝達することで、医療機関等における認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築を図る。

2. 受講対象者　所属長の推薦があり、3 日間の全日程を受講可能な者で下記の①～④を全て満たしている者

① 県内の病院に勤務する看護職員で、現在管理的役割の者、または2 年以内に管理的役割になる予定の者

② 過去に基礎的な認知症看護の研修を受講した者
研修例：「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」（インターネット配信オンデマンドまたはDVD 研修）

③ 研修受講後１年以内に、伝達研修を実施し実施報告書を提出することができる者

④ 修了証書交付後、関係機関へ情報を共有することを了承し、地域医療へ還元ができる者

3. 開催日時　1 日目：令和3 年12 月1 日（水）　13：20～15：30（受付13：00～）
2 日目：令和3 年12 月2 日（木）　8：55～17：00（受付 8：40～）
3 日目：令和3 年12 月3 日（金）　8：55～17：00（受付 8：40～）
【予備日】状況に応じて、2 日目・3 日目を下記日程に振分けて開催する場合があります
2 日目：令和3 年12 月7 日（火）　8：55～17：00（受付 8：40～）
3 日目：令和3 年12 月8 日（水）　8：55～17：00（受付 8：40～）

4. 開催場所　宮崎県看護等研修センター　　大研修室

5. 定　　員　40 名（今年度は、昨年度受講決定となっていた方を優先させていただきます。また、同施設で複数人お申し込みの場合は、推薦者が優先順位をつけてください。）

6. 研修内容　別添カリキュラム参照

7. 申込期間　令和3 年9 月15 日（水）～9 月30 日（木）16 時まで

8. 申込方法　別紙申込書に必要事項を記入のうえ、過去に受講した認知症看護に関する研修の受講状況が確認できるもの（修了証や受講履歴・プログラム等）のコピーを添付し、各施設でとりまとめて郵送してください。マナブル・電話・FAX での申込みは受け付けません。
郵送先：〒889-2155　宮崎市学園木花台西２丁目 4-6　宮崎県看護協会　教育担当宛

9. 受講決定　宮崎県看護協会長が受講者として適当と認める者を決定し、決定後文書で通知します。

10. 修了証書の交付　原則として、全科目・全時間の受講をもって修了と認め、その者には県知事名の修了証を交付します。

11. 受講料　無料（県委託事業）

12. その他
- 本研修は、「認知症ケア加算」の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法に係る適切な研修」として認められた研修です。
- 修了証書交付を受けた者は、地域の医療資源として関係機関と修了者の情報を共有します。
- 受講決定者には事前課題を提出していただきます。
- 災害等により日程の変更や研修形態の変更をさせていただく場合があります。

令和３年度「看護職員認知症対応力向上研修」カリキュラム

Ⅰ　基本知識　（講義）

ね ら い：認知症患者の入院から退院までのプロセスに沿って、基本的な知識を習得する

到達目標：病院勤務の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる

1 日目：令和 3 年 12 月 1 日（水）13：20～15：30

時間	内容	講師（敬称略）
13:00～ 13:20～13:30	受付 オリエンテーション	
13:30～15:30	1　認知症の基礎知識 ・認知症の現状と認知症施策の方向性 ・認知症の診断・病態・症状について ・認知症の治療・ケアについて ・せん妄について ・身体拘束について ・地域包括ケアシステムについて	二宮　嘉正 （協和病院 認知症疾患医療センター センター長）

Ⅱ　対応力向上　（講義、演習）

ね ら い：個々の認知症の特徴・症状に対するより実践的な対応力（アセスメント、看護方法・技術、院内外連携手法）を習得する

到達目標：1 入院及び退院時支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外と連携することができる

2 せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる

2 日目：令和 3 年 12 月 2 日（木）　8：55～17：00　【予備日】12 月 7 日（火）　8：55～17：00

時間	内容	講師（敬称略）
8:40～ 8:55～9:00	受付 オリエンテーション	
9:00～17：00	1　認知症について ・一般病院における認知症の影響 ・認知症患者の世界観の理解、中核症状の理解 ・認知症の疾病経過の理解と疾病段階を踏まえた看護・支援のあり方 ・行動・心理症状（BPSD）の理解とアセスメント、看護方法 ・行動・心理症状（BPSD）の予防と病棟での環境整備 ・チームや病棟内での情報共有、部門間での情報共有 2　せん妄 ・せん妄の病態、診断・同定、認知症との鑑別 ・せん妄アセスメント	【講師】 木原　梓 （NHO 宮崎病院 認知症看護認定看護師） 【ファシリテーター】 鈴木　敦子 （本研修に係る伝達講習会修了者） 前田　真貴子 （本研修に係る伝達講習会修了者） 谷口　光恵 （大悟病院 看護部長） 川口　マリ子 （野崎病院 認知症ケア専門士）

	・せん妄の対策（予防及び早期発見・早期対応） 3　地域連携 ・退院調整での課題（特に再入院や緊急入院を防ぐためのコーディネート） ・地域連携（在宅医療、地域包括ケアの知識、退院時の情報提供、介護施設との連携） 4　演習 ・看護計画立案を通じた事例検討	稲葉　紗代子 （高千穂町国民健康保険病院 認知症看護認定看護師） 田中　翔子 （県立延岡病院 認知症看護認定看護師） 上山　寛満 （宮崎大学医学部附属病院 認知症看護認定看護師） 新原　幸子 （野崎東病院 看護部長・認定看護管理者）

Ⅲ　マネジメント　（講義、演習）

ね ら い：マネジメント（人員、環境、情報管理等）の実践的な対応方法及び教育技能を習得する

到達目標：1 各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる

2 自施設における看護職員への研修（本研修Ⅰ基本知識編相当）を実施することができる

3 日目：令和 3 年 12 月 3 日（金）　8：55～17：00　【予備日】12 月 8 日（水）　8：55～17：00

時間	内容	講師（敬称略）
8:40～ 8:55～9:00	受付 オリエンテーション	
9:00～17:00	1　マネジメント 1）医療安全の推進 ・認知症に関する事例を収集、見返し、フィードバックをする体制 2）認知症ケアの充実と入院の長期化の回避 ・病棟内、部門間での情報共有、人員の配置 ・コンサルテーション体制（院内・地域内での専門家へのアクセスの確保） ・標準的な対応手順・マニュアルの検討整備（認知症の療養・退院支援、行動・心理症状、せん妄） 2　人材育成 ・施設内での目標設定・研修計画立案、教育技法 ・自施設での研修を実施する上でのポイント、教育の要点の伝達 3　演習 ・自部署の現状の検討、振り返り ・自施設内でのマネジメント体制の検討、研修計画立案	【講師】 新原　幸子 （野崎東病院 看護部長・認定看護管理者） 【ファシリテーター】 鈴木　敦子 （本研修に係る伝達講習会修了者） 前田　真貴子 （本研修に係る伝達講習会修了者） 谷口　光恵 （大悟病院 看護部長） 川口　マリ子 （野崎病院 認知症ケア専門士） 稲葉　紗代子 （高千穂町国民健康保険病院 認知症看護認定看護師） 田中　翔子 （県立延岡病院 認知症看護認定看護師） 上山　寛満 （宮崎大学医学部附属病院 認知症看護認定看護師） 木原　梓 （NHO 宮崎病院 認知症看護認定看護師）